

平成28年度 教育事業

「ボランティア養成研修 兼 NEAL自然体験活動指導者養成研修①」

- 1 趣 旨 自然体験活動の指導者を養成し、青少年をはじめとする多くの人々の自然体験活動を推進する「自然体験活動指導者（NEALリーダー）」と、全国28の国立青少年教育施設でボランティア活動が行える「ボランティア養成カリキュラム」の科目履修互換制度事業として、「NEALリーダー」及び「法人ボランティア」の普及を図る。
- 2 期 日 平成28年6月11日（土）～12日（日） 1泊2日
- 3 対象者 高校生・大学生・一般（15歳以上、短大・専門学校生を含む）
- 4 募集定員 20人
- 5 参加者 39人
- 6 指導者 鹿児島大学教育学部准教授 福満博隆氏
大隅肝属地区消防組合職員
国立大隅青少年自然の家職員
ボランティア2人



7 日程と主な活動

6月11日（土）	6月12日（日）
9:30 受付	6:00 起床・清掃
10:00 開講式・ガイダンス	7:00 朝のつどい
10:30 講義「青少年教育における体験活動」	7:30 朝食（レストラン）
12:00 昼食・更衣	9:00 講義「ボランティア活動の意義」
13:00 実習「自然体験活動における安全管理」	10:30 講義「青少年教育施設における ボランティア活動①」
16:30 実習「自然体験活動の技術」	12:00 昼食（レストラン）
20:00 入浴	13:00 講義「青少年教育施設の現状と運営」
20:30 交流会	14:00 講義「青少年教育施設における ボランティア活動②」
22:00 消灯	15:00 まとめとふりかえり
	15:10 別れのつどい
	15:30 解散

8 事業運営

- (1) 独立行政法人国立青少年教育振興機構法人ボランティア養成共通カリキュラムに従って、1泊2日の日程で計画した。天候の関係で海浜活動を取りやめ、本館を中心に研修を行った。
- (2) プログラムを構成するにあたっては、当施設の特性を生かした活動プログラムを体験する場を取り入れるようにした。具体的には、主な教育事業で必要なスキルとして「野外炊飯」や「救急法」を演習し、またその後のボランティア活動につながるよう、先輩ボランティアの話や交流もプログラムに取り入れた。

9 事業の実際

- (1) 「普通救命講習」では、大隅肝属地区消防組合職員の方を講師として招聘し、心肺蘇生、AEDの使用法、止血の方法等を学ぶことができた。受講者全員に普通救命講習修了証が交付された。
- (2) 「野外炊飯」では、薪割りや焚き付け等基本的なスキルの習得を図り、グループごとに「カレーライス作り」を体験した。あわせて刃物の取扱いなど、子供の行動を想定しながら、安全に活動するための説明の仕方や注意点についても考える機会を設けた。
- (3) 講義「ボランティア活動の意義」については、鹿児島大学教育学部准教授福満博隆氏を講師として招聘し、これまでの研究実践に基づいた講義を聴くことができた。
- (4) 講義「青少年教育施設の現状と運営」では、当施設の次長がこれまでの施設職員としての経験と全国の青少年教育施設の現状を踏まえて講義を行った。



10 参加者の感想

- 専門的な知識・経験をもった指導者の方がたくさんいて、もっと話してみたい、聞いてみたいと思った。
- 大変役に立ちました。これをどう活かしていくか、実践を通して学んで行きたいと思います。
- 子供たちの成長に関われる活動に、大きな責任とやりがいを感じています。



11 成果

- 定員を大幅に超える参加者があり、また高校生・大学生・社会人と幅広い年齢層で、積極的な交流が生まれ、互いに刺激し合う姿が見られた。
- 先輩ボランティアの話聞くことで、ボランティア活動の魅力ややりがいをイメージでき、多くのボランティア登録を得ることができた。
- 実技の後にふりかえりの時間を設け、活動の意味や成長につながっていく過程を考えることによって、体験活動の意義や効果について、身をもって理解できた。

